

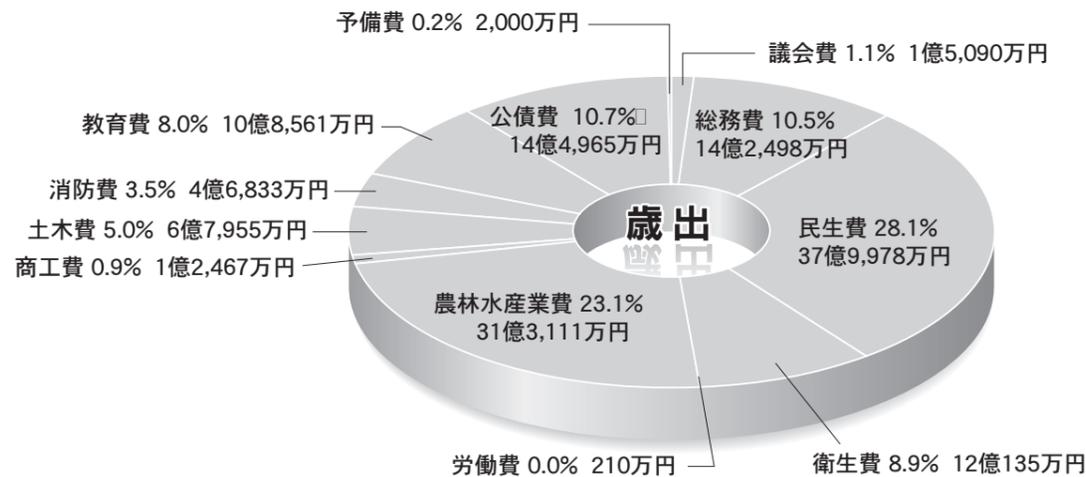
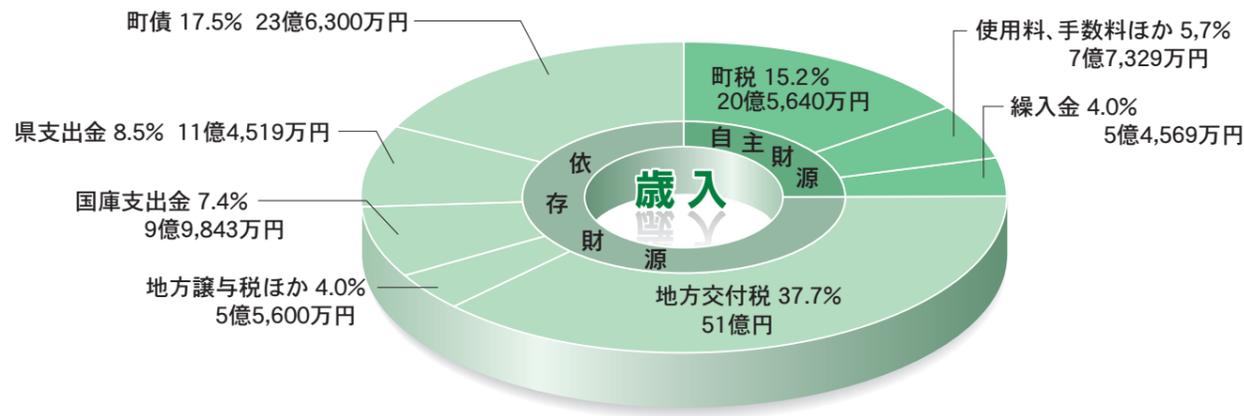
# 新年度一般会計予算 総額135億3,800万円

会計名	予算額	前年度比
一般会計	135億3,800万円	18.3%増
特別会計	国民健康保険	40億8,600万円 10.7%増
	後期高齢者医療	3億1,000万円 2.9%減
	農業集落排水	2億6,000万円 7.0%増
	特定環境保全公共下水道	3億3,300万円 67.4%減

水道事業会計	
収益的収入	5億8,404万円
収益的支出	6億 388万円
資本的収入	1億3,374万円
資本的支出	1億3,704万円

収益的収支=水道料金による収入と水を家庭に送るために必要な経費の収支  
資本的収支=古くなった水道施設の改良や新しい施設をつくるために必要な経費の収支

## 平成27年度一般会計予算の割合



## 3月定例議会

# 35議案を可決

3月定例議会は、6日から20日までの15日間で開き、町長から、条例改正案や補正予算、新年度当初予算など34議案、議員発議として1議案が提出され、全議案を可決した。

新年度一般会計当初予算は、前年度対比18・3%増の135億3800万円が計上された。

一般質問は15人が行い、第2次総合計画などについて議論を交わした。

### 一般会計当初予算

前年比18・3%増

平成27年度一般会計当初予算は、前年度対比18・3%（20億9800万円）増の135億3800万円が計上された。このうち、町税などの自主財源は24・9%で、収入の約7割を地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ず、依然として厳しい財政事情となっている。

### 第2次総合計画(案)が可決

現行の計画期間が平成26年で終了する。引き続き白石町が目指すまちの将来像を掲げ、その実現のための政策、施策を明らかにし、体系的・計画的に進めていくものである。

### 道の駅施設整備事業

(1170万円)

有明海沿岸道路が平成30年度までに福富インター(仮称)まで開通し、町内に流入する車の量が増えるの見込まれる。これを町のPRの機会と捉え、休憩施設はもちろん、地域振興を町民が一丸となって取り組める施設として「道の駅しろいし(仮称)」を整備するもの。

### 人事案件

#### 副町長

副町長に前総務課長の百武和義氏(58) Ⅱ白石町北区Ⅱを選任することに同意した。



百武 和義 氏



3月定例議会で提案理由の説明をする田島町長

# 27年度事業ピックアップ

## ヘルスケアポイント事業

30万円

町が行う健康づくり事業への参加を促すため、健康関連事業参加者にポイントを付与し、商品券として使用できる事業を実施することにより医療費の適正化につなげる。



◆写真は、町内の加盟店で  
使用できる、  
しろいしMYカード

## 国営筑後川下流白石土地改良事業償還金

17億6,858万円

国営筑後川下流土地改良事業費の償還が平成27年度から始まることを受け、筑後川下流白石平野（直送型）の償還金の繰上げ償還を行い、利子負担の軽減を図る。



◆写真は平成24年度に行われた  
筑後川下流域土地改良事業 白石町通水記念式典

## パークゴルフ場整備事業

351万円

若者から高齢者まで、一人でも、いつでも利用できる専用施設として整備し、町民の健康増進と各種グループ・団体の利用により町民の親睦を図ることを目的に平成28年8月のオープンを目指す。



◆写真は文教厚生常任委員会でのパークゴルフ場視察

## 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業

経済の脆弱な部分に的を絞り、かつスピード感を持って対応を行うことで、経済の好循環を確かなものとするとともに、地方にアベノミクスの効果を広く行き渡らせることを目的とする。

### 1 地域消費喚起・生活支援型

6,200万円

地方公共団体が実施する、地域における消費喚起やこれに直接効果を有する生活支援策に対して国が支援するもの。

- ・元気しろいしプレミアム商品券2015発行事業
- ・県プレミアム商品券町内消費拡大事業
- ・子育て世帯応援事業

### 2 地方創生先行型

6,620万円

地方公共団体による地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する有料施策等の実施に対して国が支援するもの。

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業
- ・地域資源活用観光振興事業
- ・白石がばいよかところ発信事業
- ・しろいし農業塾



◆写真は、縫いの池キャンドルナイト

## 防犯対策費

576万円

地域における犯罪を未然に防止するため、防犯関係団体と連携し各種防犯活動の実施、防犯カメラの維持管理、防犯灯整備に要する経費の一部を助成することにより、安全・安心のまちづくりを推進する。



◆写真は、白石中学校付近の街灯

# 各議案の賛否を公表

賛成...○ 反対...● 欠席...欠

議案番号	議案	結果	川崎一平	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	片淵彰	草場祥則	片淵栄二郎	久原久男	秀島和善	井嶋好信	大串弘昭	内野さよ子	西山清則	岩永英毅	溝上良夫	久原房義	
1	行政手続条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	高額療養費資金貸付基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	保育園設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	環境基本条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	担い手農地集積高度化促進事業負担金徴収条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	町営住宅条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
12	教育長の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
13	農業委員会事務局設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	農業委員会手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	第2次白石町総合計画	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
16	新町まちづくり計画(新町建設計画)の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	老人福祉センターの指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	人権擁護委員候補者の推薦	異議ない 旨答申																		
19	人権擁護委員候補者の推薦	異議ない 旨答申																		
20	平成26年度一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成26年度農業集落排水特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成26年度特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成26年度水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成27年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
27	平成27年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
28	平成27年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
29	平成27年度農業集落排水特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成27年度特定環境保全公共下水道特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	平成27年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	平成26年度一般会計補正予算(第8号)	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	副町長の選任	同意																		
34	佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。(過半数議決の場合)

## 問 地下水上昇の原因究明を早急に

調査を充分に行い、早く対策できるように万全を期す

議員 地下水位の調査結果はどのようになっているのか。

農村整備課長 田面下の水位は60㎝〜80㎝の間で推移しており、暗渠排水が機能していることを現わしている。自噴している深井戸は、地下水位が圃場よりも上であることを考慮すると、圃場の表層地下水水位は被圧地下水の影響を受けていないのではない

かと推測される。

議員 地下水上昇の原因究明はできたのか。

農村整備課長 地下水のくみ上げの減少により地下水位の上昇、自噴する深井戸が多くなったと推測される。



◆町内にある地下水上昇調査ポイント

町長 平成25年から調査を実施しているがデータ不足のため、調査を充分行い対策を講じる。被圧地下水と表層地下水位との関係は一番大きいと考えられるため、早く対策ができるように万全を期したい。

## 問 米・畑作物の収入減少影響緩和対策は対象となるのか

現時点では不明、5月上旬明らかになる見込み

議員 米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)と収入減少影響緩和対策移行円滑化対策の事業内容の違いは、

産業課長 収入減少影響緩和対策は交付対象品目である米、麦、大豆の当年産の販売収入の合計が、標準的収入を下回った場合に、その差額の9割を国からの交付金

和対策の交付対象となるのか、又、対象になれば、いつ交付金は支払われるのか。

産業課長 当年産の販売収入は平成27年3月までの米価の相対取引価格の年産平均で計算

議員 労災保険の仕組みと内容は、また、加入手続きは、

産業課長 加入制度は「特定農作業従事者」タイプは年間の農業生産物総販売額が300万円以上または、経営耕地面積が2ha以上の方、「指定農業機械作業従事者」タイプは経営規模にかかわらず加入ができ、指定された農業機械を使用し、農作業を行う方、「中小事業主」タイプは常時労働者を使用する事業者や法人の代表者、

## 問 皆さんご存じですか、加入できる農家の労災保険

農家が加入するには労災保険も選択肢の一つ

役員でも加入できる3タイプがある。保険料は年一回の掛け捨て制で、3500円〜2万円の内からの申請で、加入手続きは、加入組合等の特別加入団体を作り佐賀労働局に申込をすればよい。農作業中の事故で休業した場合、休業補償と特別支給金でヘルパー等を雇用することも可能で、万が一の時の暮らしの守りとして労災保険も選択肢の一つではないかと思う。



大串 武次 議員



吉岡 英允 議員

**問** 新たな横断歩道の設置は

**答** 関係機関と一緒に検討する

**議員** 約5ヶ月の間で

国道207号において2件の高齢者の国道横断による死亡事故が発生している。今後、類似の死亡事故防止の為に、対策はできているのか。

**総務課長** 関係者による防止対策協議を行った。また、地元、老人会において警察署と合同で交通安全の講和を実施した。

**議員** 死亡事故発生現場の近くには歩道橋があるが高齢者にとつては階段を上り歩道橋を渡るの難しいので周辺の条件を考えて新たな横断歩道の設置はできないものか。

**総務課長** すぐにはならないが横断歩道設置については、地元の方のご意見等も聞き関係機関と一緒に検討する。

**問** 温かみもちつつつ利便性のよい駅舎および周辺整備は

**答** 関係者と十分に打合せを行った後に工事着手する

**議員** 県道拡張工事に伴う白石駅、公衆用トイレの新築工事が7月より工事開始の予定だが、具体的な計画図面等はあるのか。

**建設課長** 駅舎の移転補償契約が佐賀県とJRとの合意がなされていないので平面図、立面図の提示がなされていない。提示後、りんりん公園の整備計画を含め再度、地元説明会を行う。

**議員** 新しく作られる公衆トイレは、今までどおり単独で計画されるのかあるいは、駅舎一体型であるのか。

**建設課長** 限られた敷地と建築コストを考慮して駅舎との駅舎一体型が最適であると考えている。駅は、町の顔とも言える。又、一つの町で

二つの県立高校が通学により使っている駅はそうあるものではない。本町の方々も佐賀方面、鹿島方面の通勤、通学に利用されている。そこで、利用者及び送迎者にとつて愛され温かみもちつつつ利便性のよい駅舎及び周辺整備の計画はできているのか。

**町長** 白石駅の一日の利用者数は1400人程度の利用者があるのを確認しています。だが、すべての敷地がJRの土地であるため関係者と十分に打合せを行った後に、利便性のよい周辺整備の工事に着手します。

**議員** 周辺整備計画に伴い、駅前の県道肥前白石駅停車場線の道路整備も安全対策の観点から行うことができないものか。

いものか。  
**建設課長** 停車帯を言めた県道改良工事ができると、きるもののかを道路管理者である杵藤土木へ要望をかけていく。



◆現在、工事が行われている白石駅

**問** 地沈水路の維持管理を継続するには新たな事業が必要では

**答** 白石平野地区の形態にあった事業の創設を要望していく

**議員** 第2次総合計画第1章、町の基盤整備の中に地盤沈下対策の充実とあるが、沈下対策事業は平成29年度で事業完了と聞いている。今後、地沈水路の維持管理を継続していくには新たな事業展開が必要ではないのか。

**農村整備課長** 確かに現在、平成29年度までの事業申請であり維持管理していくには新しい事業の創設は必要と思われることから白石平野地区の形体にあった補助事業の創設を県に強く要望をかけていく。

**問** 知識も能力も発揮できるプロを育てる配置を

**答** 経験、資格の取得状況、潜在的な能力の発見、育成も考え配置して行く

**議員** 職員の人事について、上司の意見・考え等は聞いているか。本人の希望のみを第一に考えての人事なのか。

**総務課長** 毎年12月職員に人事異動自己申告書を作成して提出させ、参考に配置を考えている。また、上司からの意見も反映している。

**議員** その人の知識も能力も発揮できるプロを育てる適材適所の配置を。

**総務課長** 職員の業務に対する姿勢や今までの行政経験、また、資格の取得状況を参考にしながら、職員の潜在的な能力の発見、育成も考え、適材適所の配置を考えていきたい。

**問** 町内の学校規模は適正か

**答** 規模については、地域の実情に合わせて検討していきたい

**議員** 学校規模の適正化に関する基本的な考え方は。

**学校教育課長** 子どもたちが集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要である。それに、それぞれの先生たちについても適正な配置が重要になってくる。規模については、統合の手引きに基づき地域の実情に合わせて検討していきたいと考えている。

**議員** 町内の学校規模がこのままだと、学級数が少ないことによる学校運営上の課題、教職員数が少なくなることによる学校運営上の課題、これらの課題が児童生徒に与える影響など

の問題が出てくると思う。よって、同学年に複数教員を配置するために1学年2学級以上が望ましいと思うが。

**教育長** 適正規模は、国の決まりで標準的なものはあるが町内の学校は保護者や地域のニーズに添えていると思う。白石町は現状をふまえ当面、今の規模で教育の効果が上がるように努力をしていかなければならない。又、同一学年に複数学級ある学校並みに教育効果が得られるように工夫していかなければと思う。

**議員** 学校を統合するには通学距離、通学時間の問題になってくると思うが。  
**学校教育課長** 子どもたちの負担、安全面、保護者の対応等地域の実

**問** 公共下水道処理過程で生じる汚泥処理はどのように考えているか

**答** 放線菌を利用してコンポスト化することで土壌に与える効果は大きい

**議員** 特定環境保全公共下水道処理過程に生じる汚泥処理はどのように考えているか。

**下水道課長** コンポスト化を行い発酵肥料として、製品に取り組みたいと考えている。町では放線菌を使用し、連作障害防止やおいしく甘くなり病害抑止効果など、

土壌に与える効果は大きいと聞いている。  
**議員** 処理水の利用はあつていないが、利用者があれば可能か。

**下水道課長** 処理水の再利用も計画に入れている。農家が利用される際には提供できるような考え方で取り組みたいと思っている。



◆住ノ江地区資源循環施設で処理されている汚泥

西山 清則 議員



大串 弘昭 議員

**問** 農協改革で農業所得の向上や地域の活性化は図れるのか

**答** 地域だけでは達成できない国へ施策を働きかける

**議員** 今国会で進められている農協改革について。

**産業課長** J A全中は5年後には、一般社団法人に移行され、監査部門にも新たな監査法人が新設されるなど改革が予測される。JAの特質を踏まえた監査を引き続き行えるよう配慮措置の検討がなされているものと思われる。

**議員** 改革により農業所得の向上と地域の活性化が図られるとあるが。

**産業課長** 現段階では、その道筋は見えていない。国においては、はっきりとした方針や取組みが欲しい。

**問** 人口減少の歯止め策は

**答** 子育て支援や定住促進を積極的に進める

**議員** 人口減少問題は今日、この自治体も避けては通れない喫緊の課題である。本町も10年間で2800人も減少している。第2次総合計画の中でも真っ先にこの問題を掲げている。その取組みを問う。

まず、転入者の増加、転出者の減少については。

**企画財政課長** ①地方における雇用の場を創出する。  
②地方への新しい人の流れをつくる。  
③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる。

④安心して暮らせる時代に合った地域づくり。これらを実践し魅力アップを図りたい。

**議員** 結婚推進対策の実施については。

**企画財政課長** 平成26年度から実施している婚活サポート事業も引き続き行う。成果もできている。結婚希望者の支援のため今後ともご協力をいたたく。

**議員** 増加している空き家に対する管理対策、有効活用の取組みは。

**企画財政課長** 有効活用できる空き家の実態把握を行い、借りて買い手のニーズ調査から始める。

また、地域活動の拠点にすることも考えられる。

**議員** 土地利用計画は白石町発展には欠かせないものである。第1次総合計画には掲げてあったが策定には至っていない。目標年次等は設けずに早急に取組むべきである。

**企画財政課長** 農振地域計画の見直しや都市計画マスタープランの策定の状況を見ながら平成28年度を目標に整備を図りたい。

体となったまちづくりが求められている。無秩序な開発行為を規制しながら自然環境と調和したまちづくりを目指したい。

**問** 海苔養殖の不作の原因究明を

**答** 有明海南西部一体となって国・県へ要望活動を行う

**議員** ここへ、3年有明海南西部の海苔養殖は不作の状況が続いている。今年は特に、秋海苔から冷凍海苔まで海況の回復が見られなかつた。

あるのか。

**農村整備課長** 今年は特に栄養塩が少ない。天候、地理的要因、海流の状態等、関係機関により調査、分析をお願いし、国・県挙げての対策を要望していく。



◆漁場を視察する議員

**問** 財政厳しさ増す中、公共施設の管理計画を

**答** 27年度に公共施設等総合管理計画を策定する

**議員** 合併以来10年を経過し財政優遇措置も終わり新年度より交付税の減少で財政運営は厳しさが増す。また、人口減少、高齢化の進行等による社会保障費の増加で財政はさらに厳しさが予測されることから、公共施設の統廃合と長寿命化対策の計画が必要と思うが取組みについて伺いたい。

**企画財政課長** 具体的には平成27年度に公共施設等総合管理計画を策定し、すべての施設について人口推計、利用形態等総合的に勘案し施設ごとの維持管理の方針を立て財政的見地からも平準化を図っていくたい。

**問** 職員の専門家体制で住民サービスの向上を

**答** 職員の配置とOBの人材活用を検討していきたい

**議員** 人事異動が激しく、専門的職員が育ちにくい環境にある。三町合併の効果として職員の専門化体制による住民サービスの向上が言われていたが、官、民のOBで専門的知識を持つた人材の活用も考えるべきでは。

**総務課長** 専門性を極めたという希望の職員には考慮した配置を考えていくことも必要と思う。また、官、民のOBの技術者の検討もしていきたい。

**問** 学校給食の米の品質は

**答** 三等米を使用していた時期もあった

**議員** 給食に使用している米の品質は。

**学校教育課長** 昨年10月からはさがびよりの一等米を使用している。

東日本大震災時の供給の関係で二等米を使用していた時期もあった。

**議員** 給食に一番品質の落ちる二等米を使う

ていたことにはびっくりした。子どもたちには一等米で元気に育ってほしい。

**町長** 三等米であったとは今日初めて聞いた。現在はいい方向に向かっている。

**問** 仮称六角川インターへのアクセスを県に要望しては

**答** 意向は県に伝えていきたい

**議員** 平成30年度に仮称福富インターまでの供用開始の計画が進められているが、福富北部に位置する仮称六角川インターへのアクセスとして、住ノ江郵便局三差路を東方向へ侵入できるように四差路化し、東方向へ約2605メートル延伸することがアクセス道路としては最適で県に要望してみたい。

**建設課長** 県の方では国道444号より臨港道路へのアクセスが考えられている。  
**町長** 私としても2力所の方より四差路の方がベターだと思いが、県の方では臨港道路へのアクセスを計画されているように供用開始を見て状況が悪いようであれば次の段階へ進めたい。また、地元の意向は県に伝えていきたい。



久原 房義 議員



◆有明海沿岸道路の工事現場（福富地域）



内野さよ子 議員

**問** 総合計画の評価・検証はかかせないのでは

**答** 行財政調査委員会で評価・検証を行う

**議員** 第2次白石町総合計画は平成27年度から平成32年度に向け策定された。

策定のポイントは、

**企画財政課長** 合併をして、新たな地方創生が叫ばれる中で策定をしたが、①町民に解りやすく必要とされる計画②改革期間を6年間とした③取組みの明確化④簡潔に簡条書き⑤職員

による手づくり等がポイントとして挙げられる。

**議員** 白石町行財政改革大綱及び行財政改革プランについて達成のための重点項目があり、町長を本部長とする行財政改革本部において総合的な連絡調整、確認等が行われ、白石町行財政調査委員会に報告するとあるが、

**企画財政課長** 各課に項目ごとに照会し、検討がされる中で問題点を確認して、まとめたものを報告している。

**企画財政課長** 法律により策定義務があるものや、町単独で策定しているもの等合わせて46の各種計画がある。いずれの計画も総合計画に基づき策定をしている。

今後、庁議の中で調整していく。

が多いため、委員会の委員の任期は2年では短いのではないかと。

**議員** 大綱の中には町税の収納対策があるが、その取組みは、

**議員** 白石町男女共同参画推進プランとDV被害者支援基本計画の改定のポイントは、

**議員** 行財政調査委員会では、これまでの進捗状況と報告の他に、評価・検証が行われる。町の事業のサイクルは3年

づく審議会での割合は、24.7%。地方自治法第180条の5に基づく委員会等の割合は、9.8%。また、管理職に占める割合は、11.5%となっている。

**企画財政課長** 町税の収納状況は少しずつ良くなっている。

**議員** 白石町男女共同参画推進部門では、①人権の尊重と男女共同参画の意識づくり②仕事と経営における

**議員** 審議会等に占める女性の割合は、

**議員** 男女共同参画社会づくりは、女性の問題だけでなく男性の問題でもある。

また、基金の運用については、これから始まる償還や新規事業等に運用をしよう。

また、DV被害者支援では、①暴力を許さない②安心し

**議員** 男女共同参画社会づくりは、女性の問題だけでなく男性の問題でもある。

**町長** 白石町の活性化のためにも活躍してほしい。

**議員** 総合計画は最上位の計画として位置づけられている。実務上では、それぞれの分野で各種計画が策定され管理されている。期間のずれや類似の計画は整理した方がよいのではないか。

また、5年先までの総合戦略を策定する訳だが何時頃までにやるか。

**企画財政課長** 有識者を交えた会議の中で今年秋ぐらいまでに策定したいと思っている。

**議員** 町長は、どう思われるか。



久原 久男 議員

**問** 子育て支援や定住促進対策の効果は

**答** 町外からの転入者は8軒である

**議員** 白石町の人口の推移はどうか。

**議員** 町では人口問題プロジェクトチームを作り議論されていますが、どういった認識をもって議論されているのか。

**企画財政課長** 平成17年白石町の人口は2万7057人、平成27年2万4187人でこの10年間で2870人の減少である。10年後は2万1501人となるだろうと思

**議員** 町では人口問題プロジェクトチームを作り議論されていますが、どういった認識をもって議論されているのか。

**議員** 生産年齢人口と高齢化率はどのくらいか。

**議員** 子育て支援や分譲地の販売など定住促進対策の効果はどうか。

**企画財政課長** 生産年齢人口は1万5569人で10年後は1万3426人位である。

**議員** 今の人口減少問題を考慮しての白石町内小中学校の統合は考えているか。

**問** 審議会・委員会での管理職の女性の登用は

**答** 町の活性化のために活躍してほしい



◆男女共同参画等に関する懇話会の風景

**議員** 男女共同参画社会づくりは、女性の問題だけでなく男性の問題でもある。

**問** 総合戦略はいつまでに策定するか

**答** 今年の秋までに有識者を交えてつくる

**議員** 「まち・ひと・しごと」創生ビジョンは人口減少問題をいかにして抑制していくのか町民全部の人が理解しているか。

**議員** 町には三力所の直売所があるが連携協力はどうしていくのか。

**議員** 今後のスケジュールはいつなのか。

**議員** 道の駅構想について基本計画の進捗度はどうなっているのか。

**議員** 町には三力所の直売所があるが連携協力はどうしていくのか。

**議員** 今後のスケジュールはいつなのか。

**問** 道の駅構想の進捗状況はどうなっているか

**答** 28年度に登録申請を行いたい

**議員** 道の駅構想について基本計画の進捗度はどうなっているのか。

**議員** 町には三力所の直売所があるが連携協力はどうしていくのか。

**議員** 今後のスケジュールはいつなのか。

**議員** 道の駅構想について基本計画の進捗度はどうなっているのか。

**議員** 町には三力所の直売所があるが連携協力はどうしていくのか。

**議員** 今後のスケジュールはいつなのか。

**議員** 道の駅構想について基本計画の進捗度はどうなっているのか。

**議員** 町には三力所の直売所があるが連携協力はどうしていくのか。

**議員** 今後のスケジュールはいつなのか。



◆道の駅のイメージ図「国土交通省HPより」



井崎 好信 議員

**問** 地方版総合戦略はどのように

**答** 総合計画に沿って策定していく

**議員** 地方創生における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は各自治体の自主的なアイデアが評価される地方ビジョンと地方版総合戦略の策定はどのようにされるのか。

**企画財政課長** 総合計画と総合戦略の内容が重なり、いいタイミングである。総合計画に沿って優先的なものから着目して策定していく。

**議員** 地方創生における「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は各自治体の自主的なアイデアが評価される地方ビジョンと地方版総合戦略の策定はどのようにされるのか。

**企画財政課長** 農業やヤレシ事業として就農を前提に10名程度、首都圏で募集をかけた定期研修を受けられる仕組みを計画している。

**議員** 今年4月1日からは2年間佐賀県首都圏営業本部へ職員を派遣されるがその任務は、**総務課長** 任務として流通観光の担当となるが首都圏で最先端の情報を収集し、白石町の農水産物等のPRも意識しながら任務に励んでもらいたい。

**問** 企業誘致を積極的に

**答** 地域間の連携も視野にいれて考え

**議員** 人口減少に歯止めをかける対策として若者が安心して働ける雇用の創出と地方交付税が減額される中で自主財源を確保する方策として企業誘致を積極的に進めるべきだと思つた。

**町長** 雇用の場をつくるのが重要であり、企業誘致の用地の確保も検討する必要があるが、白石町内だけにとら

**議員** 人口減少に歯止めをかける対策として若者が安心して働ける雇用の創出と地方交付税が減額される中で自主財源を確保する方策として企業誘致を積極的に進めるべきだと思つた。

**議員** 積極的な企業誘致を進める中で突然のオフアアがあつたときに用地がなくては交渉を進められない。町内のグラウンドを応急的に工業用地として使用する事は可能か。

**企画財政課長** 目的外使用は慎重にやらなくてはならない。できない

ことはないと思つたが、ハードルは高い。**議員** 企業誘致に際して税政面で優遇措置が条例でうたつてあるが拡充の考えはないか。

**町長** 企業設置条例で固定資産税を3年間免税する優遇措置があるが、今後拡充する必要があれば検討していく。



◆町内にあるグラウンド (福富マイランド)

**問** 太陽光発電(メガソーラー)の収入は

**答** 発電量(売電料)の3%、210万円程度である

**議員** 新拓の貯水池に太陽光発電(メガソーラー)の設置計画があるが計画の概要と伴う収入は、**生活環境課長** 貯水池

の3.2haを活用し、出力2メガW、一般家庭600世帯分を発電し、町は賃借料として売電料の3%、210万円程度である。

**問** 「地方創生」は自発的な政策づくりが重要と思つた

**答** 町民協働で取組んでいくための人材の育成確保が重要と考える

**議員** なぜ「地方再生」ではなく「地方創生」なのか。

**企画財政課長** 昨年5月に「日本創生会議」から、「このまま地方から大都市への人口の流出が進めば消滅する地方公共団体は全体の約半分に及ぶ」との提言が出された。政府においてはこの提言に層の危機感を持ち、「まち・ひと・しごと創生法」を制定した。こ

れにより「地方創生」の取組みとして地方公共団体がそれぞれの特性を生かし地域の実情に即した自由な施策が推進できる体制づくりに取組む。

**議員** 「地方創生」は人材の育成と確保が重要と考える。今後の町の取組みは、**企画財政課長** 行政だけではなく町民の皆さんの視点や外部からの視点で施策を実行して

いくことが重要と考える。

**議員** 税金面からみてアベノミクス効果が本町にもみられるか。

**税務課長** 個人の株式等の譲渡所得や配当所得等は増えている傾向がある。また、給与収入も増えているように感じる。税収の面で効果を図ることは難しい。

**議員** 政府は、地方活

**問** 第2次白石町総合計画、平成27年度予算に対する町長の想いは

**答** 子育て支援、定住促進などの施策を一層充実させていく

**議員** 第2次白石町総合計画や平成27年度予算にこめた町長の思いは、**町長** 合併後10年間で庁舎、道路、農業生産基盤、漁港などをはじめとしたインフラ整備は一

定の水準に達したと判断している。

27年度当初予算、3月補正予算の中では、早急に着手が可能な関連する新規事業などについて特に配慮をしているところである。



◆地域の経済対策へ

魅力アップ事業や新たな農業従事者を募集する農業研修生支援事業などに取組む。



草場 祥則 議員

**議員** 人材を確保するためにも、大学等を卒業後に町内に居住する学生の奨学金等の返済の支援は考えられないか。**教育長** 町が行なつた地域づくりの取組みの中

で庁舎、道路、農業生産基盤、漁港などをはじめとしたインフラ整備は一

定の水準に達したと判断している。

27年度当初予算、3月補正予算の中では、早急に着手が可能な関連する新規事業などについて特に配慮をしているところである。



溝口 誠 議員

**問** 期日前投票の利便性を図るために入場券に宣誓書の採用を

**答** 現在のシステムでは投票所での説明により従来通りに行いたいですが、今後検討していく

**議員** 過去10年間の投票率の動向は。

**総務課長** 過去10年間、白石町の投票率は県平均より高く推移している。昨年の衆議院選挙では県平均より7.45%高くなっているが、若年層を中心に本町でも低下傾向にある。

**議員** 投票率アップの対策はどの様にされて

**議員** 投票用紙は経費削減により個人ことから世帯ごとに送付されるようになった。そのことは評価できるが、提

**議員** 現在、小中学校の児童生徒の登下校時の防犯対策はどの様におこなわれているか。

**学校教育課長** 小学生全員に防犯ブザーの所持、中学生には所持の推進を行っている。

**議員** 現在、小中学校の児童生徒の登下校時の防犯対策はどの様におこなわれているか。

案として入場券の裏面に期日前投票宣誓書をつけてほしいと思う。「期日前投票所で記入している」とシロシロ見られている感じがする」との声をいろいろな所で耳にする。入場券に期日前宣誓書を取り入れた県内の市で投票される方からは「スムーズに投票できてよかった」との声も聞かれる。投票率が低下している状況で、若者の政治離れが言われ

中、来年の参議院選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられる予定である。投票率アップのためにもお願いしたい。

**問** 児童生徒の登下校時の防犯対策は関係機関や地域とも連携を図り充

**議員** 現在、小中学校の児童生徒の登下校時の防犯対策はどの様におこなわれているか。

たことが時々あるが24%、車がぶつかりそうになった時、知らない人に声をかけられたが50.7%あり、安心安全のまちへの要望が強かった。更なる対策を願う。



◆児童の下校風景

**問** 農業の基盤整備事業の今後の取組

**答** 第2次総合計画に沿って農業の基盤整備を行っていく

**議員** 農業の基盤整備について掲

**町長** 第2次総合計

**議員** 農業の基盤整備について掲



◆防災訓練の風景

**問** 自主防災組織化の推進は

**答** 各地区に出向いて設置のお願いをしている

**議員** 自主防災組織化の推進について、平成25年度で組織率が17%、32年度までに35%の目標だが、佐賀県で本町だけ1組織減っている。その原因と具体的な推進の方法を考えているのか。

溝上 良夫 議員

**議員** 過去10年間の投票率の動向は。

**総務課長** 過去10年間、白石町の投票率は県平均より高く推移している。昨年の衆議院選挙では県平均より7.45%高くなっているが、若年層を中心に本町でも低下傾向にある。

**議員** 投票率アップの対策はどの様にされて

**議員** 投票用紙は経費削減により個人ことから世帯ごとに送付されるようになった。そのことは評価できるが、提

**議員** 現在、小中学校の児童生徒の登下校時の防犯対策はどの様におこなわれているか。

**議員** 現在、小中学校の児童生徒の登下校時の防犯対策はどの様におこなわれているか。

**議員** 現在、小中学校の児童生徒の登下校時の防犯対策はどの様におこなわれているか。



前田 弘次郎 議員

問 地域活性化への取組みは

答 商店と地域が一体となつて守つていく

議員 買い物弱者といわれる独居等の老人世帯などに対する生活支援の状況は。

長寿社会課長 一人暮らしや高齢者のみの世帯で、介護が必要な方への買い物支援は、ホームヘルプサービスのほか、子どもや友人などで支援を受けられている。

議員 地域の小売店に対して、経営の支援策や店舗の改築などにかかる費用に対しての補助制度はないか。

産業課長 小売店への経営支援策については、各々の小売店に対する直接的な支援はしていないが、商工団体への補助金、融資保証事業預託金制度、設備資金借り受け者への利子補給、事業資金保証料の補填金などの支援を行っている。

副町長 商店が成り立っていくには、お客さんがいなくてはいけない。

その消費者を、商店と地域が一体となつて守つていくことだと考える。

問 ICTの利活用について

答 町のPRをはじめ教育の分野にも活用する

議員 白石町のホームページの充実はどのようにするのか。

総務課長 ホームページのリニューアル事業を考えている。まずは、見やすさとアクセスのしやすさを最優先に考えている。

町外の方へは必要最小限のクリック数で、町の魅力もある部分の説明をアクセス出来る様に、町内の方に対する行政情報の発信については、一見してすぐわかるよう改善していきたい。また、ツイッターなどの情報媒体の活用も検討していきたい。さらに白石町の魅力をPRしていく。

議員 タブレットパソコンの活用方法は、授業に対する子供たちの理解を助長する効果が期待できると思うが、教育

長への考えは。教育長 まさにその通りです。高度情報化社会になり学校も例外ではない、小学校では各学校を3グループに分けて移動パソコン教室方式でタブレットを活用している。中学校では、技術・家庭の中で情報に関する技術として必須であり、2校に41台のタブレットを配置している。今年度に残りの1校に配備する。

議員 新聞にICTの使いすぎに注意との記事が載ったが教育長はどう思われるのか。教育長 電子機器を使わずに電磁波が体や脳に悪いなどの情報を聞いたことがあるが、それとは違つたようである。新聞の記事は、勉強時間が同じでも、ゲームなどを何時間したかでの様な懸念があると考えられるか。

その成果を比較してある。ゲーム等のやりすぎによる脳の活動を論じたもので、同じ学習時間でも学習成果に違いが生じることを言うてある。白石町の子供たちは、パソコンを使った学習にも慣れていくが情報機器を使えば使うほど体を使った活動や、自然体験活動の比率を高めていきたい。



問 通学道路の安全対策は

答 関係機関と連携して安全の確保に努めたい

議員 有明南小学校の通学道路である高町百貫線の歩道の拡幅工事の計画はいつなっているのか。

建設課長 町道高町百貫線のうち、県道白石大町線の至島交差点から町道古賀辺田線との交差点までの約1000mについては、県に平成27年度の概算要望を行つてるところであり、平成27年度当初予算により、道路の測量調査設計業務委託料と一部区間の道路改良工事費や用地購入費等を計上してあります。事業期間については、道路延長が長いため、平成31年度完成を目指したい。

今年度はさらに、白石町安全推進会議を設置し、先月、白石町通学路交通安全プログラムを策定する。今後は、この基本方針に基づいて合同点検を実施していくことになっている。



川崎 一平 議員

問 防災放送について、現在どのような状態になっているのか

答 国の事業によりアドバイスを受けている

議員 東日本大震災から4年経つが、本町ではまだまだ伝達率が不十分である。検討委員会も立ち上げられているが進捗状況は。

総務課長 今年度に入ってから、業者、メーカーからの聞き取り等を行っているが、今年1月に、九州総合通信局、2月に、災害情報伝達手段アド

バイザー派遣事業が実現し、予定より遅くなつたが、今アドバイスを受け進んでいる。主な内容は、屋外拡声器の増設、高性能スピーカーの設置、戸別受信機への導入、戸別受信機に携帯メールシステムの導入、これは利用者も多く必須である。また、放送確認システムの導入、ケーブルテレ

問 街灯防犯灯について聞き取り調査が行われたが結果は

答 850基の要望があった

議員 先日、聞き取り調査が行われたが、新設、交換合わせどの程度の数字が上がってきたのか。

総務課長 昨年10月調査を行った結果、新設104件、交換746件、合計850件の要望が上がつた。

議員 今回の当初予算で予算化がなされているが内容は。総務課長 まずLED防犯灯に交換の目的は、省電力等住民への負担軽減、環境に優しい街づくりなどが期待できることから、LED防犯灯を推進している。

要だと思つている。町長 アドバイザー事業が遅くなったが、一つ適切なアドバイスに基づき、的確に判断していきたい。

議員 この補助には工事費用も含まれているのか。総務課長 工事費用も含まれている。

議員 これまで、防犯灯、街路灯での農作物への被害があったと聞くが、

問 少子化と共に学校の統廃合の考えは

答 今の所既存のまま

議員 生徒の人数が減つてきたことによるメリットデメリットは。学校教育課長 よい所は、個別指導が行きわたる、生徒の行動が捉えやすい。悪い点は、クラス替え等ができないため、クラス同士が競い合う教育活動ができない。

議員 生徒数も減り競争化社会に対応するべくクラスを増やす為に統廃合の考えはないか。教育長 国の定めで小学校は12から18クラスが標準となっているが、福富小を除く他の町内7小学校が全て1クラスとなっている。しかし各学年に縦割教育等の

指導上の工夫で対応し教育をしている。議員 学校給食の材料の質を上げられないか。材料の質を上げて子供達の食の改善をして、値上がりする分だけ予算化できないか。町長 給食費未納の問題もあるが今年度予算に6年生と中学3年生の給食費補助を上げている。今後補助の制度を全学年に均等割り出来るよう考えていきたい。



◆町内にある街灯



片淵 栄二郎 議員

問 今後の白石農業の振興策は

答 効率的で安定した経営体を育成していく

議員 本町の産業の基軸である第1次産業は農家数の減少や高齢化が進んでいる。

米の直接支払いが削減され平成30年からは廃止になる予定であり、今後の白石町の農業の振興策の考えは。

また、筑後川下流土地改良事業の完了に伴い平成27年度から事業費の償還が開始されるが、負担軽減に向けた償還

方法の考え方は。

産業課長 白石平野は全国的にも恵まれた圃場の条件にあるため農業経営を目的に新規に就農する若者やUターン就農者も少なくない。

農地を有効に維持・集約し、効率的で安定した経営体を育成していきたい。

また、集落営農組織の法人化も推進していきたい。

企画財政課長

平成27年度から事業費の償還が始まる。法定利息が5%と高く、地方債に借り換えて一括償還した方が有利なため平成27年度予算において対応する予定である。

会計管理者

一般の金融機関より金利の安い起債に借り換えて一括償還し、利子負担の軽減を図るものである。

議員

軽量野菜生産への支援策は。

産業課長 一帯が園芸農業者育成対策事業など県の補助事業を活用し

議員

旧排水機場の解体計画はあるのか。

農村整備課長

施設の老朽化、地盤沈下の進行により機能が著しく低下したため平成18年度に県営地盤沈下対策事業で新たに建設された新排水機場の建設以降は稼働していないため、平成26年9月に施設の管理者である国に取り壊しの要望を行っている。

問 農地・農道・水路等の補修の支援について

答 関係機関及び地元と対応を協議していく

議員 新開増反地区の農地・農道・水路等の補修の支援はできないか。

農村整備課長 新開増反地区は多面的機能支

議員

商品開発発当時のグループの人数は20数名だったが現在では、8名で生産販売されている。

また、原材料である大豆価格の高騰もあり利益を出しにくい状況である。

小水路については、法



◆水路法面くずれ

問 認知症の早期発見早期治療はどのような計画か

答 認知症力フエ、商工会と共同で講習会を計画している

議員 認知症が今後10年後に700万人に達する。高齢者の5人に1人の割合で急増すると見込まれている。政府はこの推計を盛り込んだ認知症対策の新たな国家戦略案をまとめた。

早期診断に必要な研修を17年度までにかかりつけ医6万人に受講してもらいつつ、現行計画の数値目標を引き上げて、現在2061名のサ

られているのか。

長寿社会課長

認知症は家族が早めに「変化」に気づいて、早期診断・早期治療が必要である。町民への認知症を理解してもらつために、出前講座や講習会を開催して、現在2061名のサ

問 子育て応援として小中学生の給食費の無料化を

答 新年度小学6年と中学3年生の無料化を実施する

議員 現代の社会は、親の低収入や失業、離婚、死去による経済状態の悪化などがもたらす子どもへの貧困をどう解決するのか。子どもの約6人に1人、貧困率16.3%と過去最悪を記録する日本社会が突きつけられている深刻な問題である。

小学校・中学校の給食費を無料化して、食育の充実をはかるべきではないか。また、子どもの医療費無料化を高校卒業まで拡充すると予算額はどの程度になるのか。対象を高校生までに広げるべきではないか。

町長

新年度より子育て応援の取り組みとして、小学6年生と中学3年生に限定して、商品券5万円を配布して、給食費の無料化を実現したい。

保健福祉課長

厚生労働省の試算によれば、高校生一人当たりの自己負担額推計値は年間に1万6000円程度になっ

ポーターを養成した。2月から認知症力フエを支援したり、商工会と共

同で講習会を計画している。

議員

面が崩壊が進行している。補助事業の有無を含め、関係機関及び地元と協議する。

議員

未舗装道路の舗装計画はあるのか。

農村整備課長

町内の農道の総延長は367kmである。その内未舗装道路は約25kmで農業基盤整備促進事業により計画的に舗装を行っている。新開地区も計画に入っている。優先順位を考慮しながら実施していく。

議員

旧排水機場の解体計画はあるのか。

農村整備課長

施設の老朽化、地盤沈下の進行により機能が著しく低下したため平成18年度に県営地盤沈下対策事業で新たに建設された新排水機場の建設以降は稼働していないため、平成26年9月に施設の管理者である国に取り壊しの要望を行っている。

問 町単独でも住宅リフォーム事業の実現を

答 省エネポイント制度住宅エコリフォームを活用

町長 医療費無料化

している。よつてもし、医療費無料化を高校生までに拡充すると700万円程度の財源が必要になる。

を現物給付にしてい

ためには、本町だけでは無理がある。関係市町とも連携して、県に対しても強く要望していきたい。

議員 町民が住宅をリフォームする時に地元業者に発注した場合、工事費の一部を自治体が助成する「住宅リフォーム助成制度」が全国に広がっている。リフォームの助成が受けられることで町民生活の支援にもなるうえ、予算額に対して実際の工事費用が低いところでも費用対効果が7〜8倍にもなり、経済波及効果が高いことが注目されている。住宅リフォーム助成制度は、住宅関連業者だけでなく、関連する物品購

入や、商品券で助成することにより地域での消費購買を促進するなどの経済波及効果があるので新年度の事業計画に入れるべきではないか。

建設課長

平成23〜25年度まで佐賀県の基金30億円を活用して、本町でも事業に取り組んだ。

今後は、単独での事業は考えていないが、26年度の補正予算の「省エネポイント制度」「住宅エコリフォーム」を活用していく。



秀島 和善 議員



◆給食 (イメージ)

常任委員会概要報告

総務常任委員会

発議第1号「町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例」

議会の議決を必要とする変更契約について、総務常任委員会では白石町が発注する公共工事に変更契約が生じる場合に、その工事が遅滞して町民の皆さんに不利益、不便が生じるのをできるだけ緩和できるように、議会の議決を経て締結した工事又は製造の請負契約について、当該議決に係る契約金額をその10分の1以内かつ500万を超えない範囲内で変更する契約を締結することを町長の専決処分に追加する議案を提出し可決した。



◆福富社会体育館の改修工事

文教厚生常任委員会

小学校の状況について意見交換及び公設民営化保育園の視察

内野さよ子委員長ら6人は2月17日、役場において町内8小学校の校長から最近の学校の概要等を聞き意見交換を行った。

各学校の教育目標・特色、重点課題などの説明を受け、最近の教育環境の変化に対応されている姿が伺えた。

子どもたちの健康、学力向上、地域との連携は欠かせないが、町内学校に対する地域の皆さまの支援、保護者の理解があり、学校の教育活動がうまくできていることに大変感謝されていた。

2月20日には26年度に民営化された六角保育園と有明のり保育園を訪問した。これまでの保育園の内容を引き継ぎ、さらに社会の変化に対応し、民営としての理念をもって活動がなされていることを強く感じました。



◆公設民営化保育園の視察風景

産業建設常任委員会

有明海養殖海苔の生育状況を現場視察

大串弘昭委員長ら5人は2月17日、白石沖と福富沖を2班に別れて有明海養殖海苔の生育状況を視察した。

本年度は、特に秋海苔の収穫時期からプランクTONの異状発生が見られ、栄養塩の低下を招き、近年にない不作となっている。

この時期1月、2月は冷凍海苔の最盛期であるが色落ち状態は依然として解消できず、視察当日は海苔の品質維持と生産継続のため盛んに施肥(硝酸)作業が行われていた。

ここ数年、特に西部地区は海苔養殖場の海況は著しく悪化して不作の状態が続いている。もはや、個々の生産者自体での努力や頑張りでは到底解決できないことを痛感した。

今後は有明海養殖海苔の生産安定化に向けて国、県の支援を仰ぎ、抜本的対策が望まれるところである。



◆海苔漁場の現場視察風景

議会出前講座 報告

1月22日 馬洗老人クラブ

議員第1班(久原房義班長以下4人)は、馬洗老人クラブ(安武俊行会長)に出向き、会員約50人に議会報告をし、意見交換を行った。

次のような意見が交わされた。

- ・空き家対策について、役場にも言っているがなかなか進まない。どうにかならないか。国にも法整備がされるよう働きかけてほしい。
- ・執行部、議会双方にお願いしたいが、人口減対策に力を入れてほしい。
- ・下水道が整備されて2年位になるが、加入率はいくらか。少なければ使用料に影響してくるのではないか。など



◆馬洗老人クラブでの出前講座風景

【第1班】  
久原房義 川崎一平  
片淵栄二郎 久原久男  
吉岡英允

2月16日 築切西分老人クラブ

議員第2班(内野さよ子班長以下3人)は、築切西分老人クラブ(藤井孝義会長)に出向き、会員約40人に議会報告をし、意見交換を行った。

次のような意見が交わされた。

- ・学校給食の食材はどこから仕入れているのか。
- ・給食費の支払いができていない方がいるが、どうなっているのか。
- ・全国学力テストの成績が悪いのはなぜ。白石町が消滅するといわれているがその対策は。
- ・議会において農業関連の質問が少ないような気がする。



◆築切西分老人クラブでの出前講座風景

【第2班】  
内野さよ子 片淵 彰  
前田弘次郎 秀島和善

最近の主な議員活動

月	日	曜	活動内容
1	4	日	白石町成人式
	7	水	議会だより編集委員会
	8	木	議会改革特別委員会 立志式
	10	土	白石町消防出初式
	14	水	議員への説明会 議員例会
	15	木	白石町合併10周年記念式典
17	土	叙勲祝賀会	
22	木	議会出前講座(馬洗老人クラブ)	
24	土	白石町社会福祉大会	
2	1	日	白石町人権フェスティバル 北方領土返還要求佐賀県民集会
	4	水	iPad研修会
	10	火	議員への説明会 議員例会
	12	木	同和問題地区別研修講座
	14	土	地域支え合い講演会
	15	日	「元気のため」開所1周年記念式典
	16	月	議会出前講座(築切西分老人会)
	17	火	産業建設常任委員会 文教厚生常任委員会
	20	金	文教厚生常任委員会 杵藤地区町村議会議長会議員 研修会及び懇話会
	24	火	白石町農業振興大会
25	水	議員への説明会	
27	金	議会運営委員会	
3	1	日	白石町防災訓練 防災講演会
	6	金	白石町議会3月定例会(～20日)
	10	火	議員への説明会 議員例会
	13	金	中学校卒業式
	15	日	歌垣の郷ロードレース大会
	19	木	小学校卒業式
	20	金	有明海沿岸道路建設促進協議会
	22	日	合併10周年記念合同ふるさと会 (白石、福富、有明)
	23	月	新有明漁港完工式
	26	木	保育園卒園式(7園)
28	土	保育園卒園式(1園)	
30	月	議会だより編集特別委員会	